

平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東  
 コード番号 3195 URL http://www.genepa.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 洋明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)鈴木 智也 (TEL)03(3343)3544  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	2,586	24.3	52	△31.7	57	△26.0	34	△28.8
26年12月期第2四半期	2,080	-	76	-	77	-	48	-

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 34百万円(△28.8%) 26年12月期第2四半期 48百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
27年10月期第2四半期	円 銭 20.28	円 銭 20.14
26年12月期第2四半期	34.01	-

- (注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を平成26年12月期より行っているため、平成26年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。  
 2. 平成26年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。  
 3. 当社は、平成26年6月2日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、当連結会計年度の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27年10月期第2四半期	百万円 1,403	百万円 635	% 45.3
26年12月期	1,139	601	52.8

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 635百万円 26年12月期 601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年10月期	-	0.00	-	-	-
27年10月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,150	-	53	-	54	-	35	-	23.06

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。  
 3. 平成27年10月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については、10か月(平成27年1月1日～平成27年10月31日)の予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年10月期 2 Q	1,705,010株	26年12月期	1,705,010株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

27年10月期 2 Q	-株	26年12月期	-株
-------------	----	---------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年10月期 2 Q	1,705,010株	26年12月期 2 Q	1,428,110株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は回復基調を持って推移しておりますが、消費税率引き上げ後の個人消費動向に弱さがみられ、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、継続的なビッグデータの収集とその分析を進めることで、マーケットニーズに沿った「ECマーケティング事業」の展開を推し進めてまいりました。平成27年6月30日時点における出店店舗数は合計で37店舗と引き続き増加しており、既存モールでは、当社独自の戦略であるEC Platform Optimization(以下「EPO」という)を推進し、集客と売上拡大施策に注力しております。また、当該ビッグデータを活用した「商品企画関連事業」についても順調に事業が立ち上がり、売上が計上されています。費用面に関しては、急激な円安に伴う仕入コストの上昇や、海外への販売体制構築のための費用、「商品企画関連事業」の新規立ち上げに係る費用、及びシステム開発のための投資により大きく増加しておりますが、売上高の堅調な増加により当初年度計画以上の経常利益の確保を実現しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,586百万円(前年同四半期比24.3%増)となりました。ECマーケティング事業及び商品企画関連事業の売上高が堅調に推移したことにより、営業利益は52百万円(前年同四半期比31.7%減)、経常利益は57百万円(前年同四半期比26.0%減)、四半期純利益は34百万円(前年同四半期比28.8%減)となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

なお、「商品企画関連事業」に関しましては、第1四半期連結会計期間において、事業を開始したため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

また、第1四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更したため、「ECマーケティング事業」の前年同期との比較は記載しておりません。

#### ①ECマーケティング事業

ECマーケティング事業につきましては、継続的に収集されるビッグデータの分析に基づき各種マーケティング施策を実施し、売上拡大に向けて積極的に取り組んでまいりました。また、取引先の増加に伴い、出店中の各モールにおける商品数も順調に増加しております。更に、販売を促進する商品コンテンツの拡充を実現するために、撮影スタジオを大幅に増床し、撮影機材及び人員への投資を促進しております。

システム面では、当社が独自に開発したオペレーションシステム(GPMS: Generation Pass Management System)及びEPOを推進するためのビッグデータの収集及びその分析を行うシステム(MIS: Marketing Information System)の強化を進め、利益率を向上または改善させるための投資を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,147百万円、セグメント利益は66百万円となりました。

#### ②商品企画関連事業

商品企画関連事業につきましては、取引先商品の企画サポートが開始され、ベトナム及びカンボジア工場における生産がスタートし、家具や雑貨等の輸入について順調な滑り出しとなりました。また、売れ筋データ分析によるパートナー企業との共同商品開発を推進するため、事業展開に関する投資を行っております。

以上の結果、売上高は435百万円、セグメント利益は66百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円の増加となりました。

流動資産は1,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が181百万円、商品が104百万円、その他が86百万円増加し、売掛金が66百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、27百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、敷金及び保証金が48百万円減少したことによるものであります。

(負債の状況)

負債は、768百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円の増加となりました。

流動負債は、765百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、短期借入金が250百万円、支払手形及び買掛金が39百万円増加し、未払金が68百万円減少したことによるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、635百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、四半期純利益の計上により利益剰余金が34百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の通期の業績見通しに対する当第2四半期連結累計期間の実績については、営業利益の進捗率が97.4%、経常利益の進捗率が104.9%、当期純利益の進捗が97.7%と好調に推移しております。

しかしながら、平成27年10月期の通期の業績見通しにつきましては、下半期において通期の業績見通しに織り込まれていない中国へのEC市場進出等に関する先行投資を予定しており、現時点では平成27年2月13日に公表した業績見通しからの変更は行いません。今後は進捗状況に応じて適時に変更等の開示を行ってまいります。なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	88,271	269,663
売掛金	635,556	569,010
商品	329,104	433,912
繰延税金資産	2,102	4,823
その他	16,327	102,989
貸倒引当金	△4,790	△4,267
流動資産合計	1,066,570	1,376,131
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,413	2,413
車両運搬具	17,768	17,768
工具、器具及び備品	2,858	3,862
その他	-	168
減価償却累計額	△19,340	△20,030
有形固定資産合計	3,699	4,183
無形固定資産		
ソフトウェア	7,676	10,629
その他	23	23
無形固定資産合計	7,700	10,652
投資その他の資産		
敷金及び保証金	60,761	12,241
繰延税金資産	481	456
その他	-	292
投資その他の資産合計	61,243	12,991
固定資産合計	72,643	27,827
資産合計	1,139,213	1,403,958
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	274,594	314,388
短期借入金	-	250,000
未払金	220,031	151,531
未払法人税等	23,290	27,094
その他	17,793	22,853
流動負債合計	535,709	765,868
固定負債		
資産除去債務	2,130	2,140
固定負債合計	2,130	2,140
負債合計	537,839	768,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	193,187	193,187
資本剰余金	182,187	182,187
利益剰余金	225,999	260,575
株主資本合計	601,373	635,949
純資産合計	601,373	635,949
負債純資産合計	1,139,213	1,403,958

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,080,272	2,586,752
売上原価	1,474,285	1,896,824
売上総利益	605,986	689,927
販売費及び一般管理費	529,117	637,462
営業利益	76,869	52,465
営業外収益		
受取利息	4	21
助成金収入	490	2,628
為替差益	207	1,357
受取保険金	-	749
その他	741	756
営業外収益合計	1,443	5,513
営業外費用		
支払利息	359	311
その他	9	-
営業外費用合計	369	311
経常利益	77,943	57,666
税金等調整前四半期純利益	77,943	57,666
法人税、住民税及び事業税	29,989	25,786
法人税等調整額	△617	△2,696
法人税等合計	29,372	23,090
少数株主損益調整前四半期純利益	48,571	34,575
四半期純利益	48,571	34,575

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,571	34,575
四半期包括利益	48,571	34,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,571	34,575
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	77,943	57,666
減価償却費	1,276	1,776
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,045	△523
受取利息及び受取配当金	△4	△21
支払利息	359	311
売上債権の増減額(△は増加)	61,162	66,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147,575	△104,808
前渡金の増減額(△は増加)	△10,420	△53,507
仕入債務の増減額(△は減少)	△633	39,793
未払金の増減額(△は減少)	△16,910	△68,499
前受金の増減額(△は減少)	△28,778	5,330
その他	△1,520	△35,375
小計	△66,146	△91,311
利息及び配当金の受取額	4	21
利息の支払額	△359	△301
法人税等の支払額	△22,768	△21,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,269	△112,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△973	△1,194
無形固定資産の取得による支出	△200	△4,018
敷金及び保証金の回収による収入	80	48,520
その他	-	△292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,093	43,014
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	100,000	250,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,000	250,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1,305
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,636	181,391
現金及び現金同等物の期首残高	68,711	88,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,347	269,663

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

当社グループは、ECマーケティング事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,147,775	435,230	2,583,005	3,746	2,586,752	—	2,586,752
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,147,775	435,230	2,583,005	3,746	2,586,752	—	2,586,752
セグメント利益	66,879	66,179	133,059	2,094	135,153	△82,688	52,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△82,688千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が△82,688千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは前連結会計年度まで「ECマーケティング事業」以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、新規事業として開始された「商品企画関連事業」を新たに報告セグメントとして追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、ECマーケティング事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、開示を行っておりません。

## 3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

当社は、平成27年6月16日開催の取締役会において、平成27年7月2日から平成27年7月3日を払込期日とする第三者割当増資を決議し、平成27年7月2日付で引受契約を締結し、同日に払込が完了いたしました。

第三者割当増資の内容は次のとおりであります。

- ・株式の種類及び数 普通株式350,000株
- ・発行価額 1株につき2,451円
- ・発行価額の総額 857,850,000円
- ・資本組入額 1株につき1,225.50円
- ・資本組入額の総額 428,925,000円
- ・割当先 CT Bright Holdings Limited
- ・払込期日 平成27年7月2日から平成27年7月3日
- ・資金の使途 中国企業との資本提携又は買収の原資金として今回の資金の一部を使用する予定であります。